

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書

令和2年2月18日 提出

1. 視察概要

会派名	大清会
視察者名	佐藤 勝、加藤善市
視察日	令和2年1月15～17日
視察先	兵庫県朝来市、香川県丸亀市、高松市
出席者	馬袋課長補佐（朝来市）、郷田商工会議所長（丸亀市）、多田交通政策課補佐（高松市）

2. 視察内容

視察項目	○ 「あさご未来会議」について 1月15日（朝来市）
視察内容	<p>地方創生の第2期計画策定時の市民対話の概要を調査（別紙）しました。</p> <p>考察すると、大崎市は2年間の延長で決まるが、あさご市の2期目の戦略は、市民との未来会議で、まちづくりは自分たちのものであるという意識改革につなげている。</p> <p>KPI指標を高めるためのツールとしての対話の姿勢が進化しつつあり。それが市民協働につながると感じた。</p> <p>○ 「まちの駅 秋寅の館」について 1月16日（丸亀商工会議所）</p> <p>中心市街地の賑わいを取り戻すため、TMO構想に着手し、丸亀出身の実業家の旧家をかりて、文化教室「絵画、陶芸、版画、茶道、華道、着付け」などの講座を開設し、貸し出しも行い、会議室、展示室、集会室に利用してもらってる。</p> <p>市民のサークル活動に関心が高く、まちの駅として中心商店街の活性化に役立っていると市民には好評（別紙）だそうです</p> <p>○ 「地域公共交通再編事業」について 1月17日（高松市）</p> <p>市内の公共交通の利用率を高めるため、ネットワークの再構築として、平行に走るJRと琴平電鉄の鉄道3駅を新築し、それを柱にバスでの回遊性の向上を図り、民間運行事業者との合意形成と、市の将来の財政負担を考えた計画で、結果として鉄道事業は利用者が大幅に増加し、バス路線は横ばいだった。 今後はICカードの導入、決済システム等新たな課題に取り組むと説明があった。（別紙）</p>
他会派との 合同実施	

以上